

■発行日：2018年1月1日

■発行所：栃木県中小企業家同友会
〒321-0968

栃木県宇都宮市中今泉2-3-13

TEL 028-612-3826 FAX 028-612-3827

E-mail: t-doyu@ninus.ocn.ne.jp

URL: http://www.tochigi.doyu.jp/

■企画編集：広報委員会 ■印刷：有限会社 赤札堂印刷所



様

News Topic 01

新年のご挨拶

今年は同友会を利用・活用し 尽くそう！

新年の挨拶として、皆さんに「今年は同友会を利用・活用し尽くそう！」という提案をしたいと思う。

ある代表理事が「同友会は太鼓と同じ！」と言っていたのを時々思い出す。「強く叩くと大きな音が、小さく叩くと小さい音が響く」と。同友会で、「困った！どうしよう？」と周りに発信すると戻ってくる。戻ってくるものは、その加減しだいである。まず発信し、行動する。

昨年ある会員さんから、「中小企業家新聞」を読

んで、気になった経営者に連絡をとって、会社訪問をして来ましたとの報告を聞いて、うれしかった。

「会員は辞書の1ページ」とよく言われる。我々自身経営者として、いろいろな経験をしてきたし、今も継続して経験をしている。未熟な部分もあるが、苦勞に苦勞を重ねて学んできたものもある。我々全国5万社を目指す団体は、その数のページ数の経験が詰まっている。

[文] 代表理事 八木 仁/（株）シンデン



八木 仁氏

News Topic 02

栃木の話 10月例会『中小企業の異業種連携事業展開』

少子化 生き残りの企業連携戦略

10月24日開催(障がい者就労支援部会担当)

報告パネラー：

鹿沼自動車教習所 代表取締役 古澤 正巳氏

NPO法人CCV学園 講師 金子 幸子氏

NPO法人CCV 副理事長 神戸 真弓氏

座長：NPO法人チャレンジ・コミュニティ

理事長 金井 光一氏

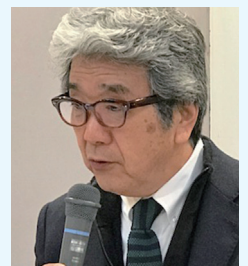
自動車教習所業界では、少子化が叫ばれるなか値引き合戦による過当競争が激化していた。鹿沼自動車教習所の古澤社長は、当時合格率が半分以下だった発達障がい者の免許取得率向上が差別化につながるのではないかと考え、そのプログラム作りに試行錯誤していた。

転機は古澤氏が発達障がい者の教育に詳しい宇都宮大学に協力を仰いでからだ。方針に確かな手

ごたえを得た氏は、実践にあたって同じ鹿沼市にあるNPO法人CCVの協力を得ることができた。そして化学反応が生まれた。『つばきプラン』の誕生である。実践で起こる様々な問題をスタッフが丁寧にマニュアル化していく繰り返しの中で、発達障がい者免許取得支援プログラムは精度を増していった。

「つばきプラン」は、その後6年間で120名を超える卒業生を輩出する。その合格率は97%（途中辞退を除けば100%）。免許取得後わざわざ四国からお礼に来る親子、日本全国から届く合格報告のはがき。それがスタッフの意欲に繋がる。企業と福祉の連携は、唯一無二のビジネスモデルとなり、全国に広がりつつある。鹿沼市の中小企業連携は全国にはばたく「つばき」を手にした。

[文] 福田雅樹（NPO法人チャレンジ・コミュニティ）



古澤 正巳氏

今後の 予定

1月 2018栃木県中小企業家同友会 新春講演会・賀詞交歓会

【テーマ】「若者が残る地域」づくりを我々中小企業家の手で

【報告者】（株）ヴィ・クルー 代表取締役 佐藤 全氏
中同協 共同求人副委員長/宮城同友会 副代表理事

【開催日】2018年 1/30(火) 受付16:30 開会17:00

【参加費】5,000円

【会場】コンセーレ栃木県青年会館 栃木県宇都宮市駒生1丁目1番6号

2月 2月県例会

【開催日】2/22(木) 18:00～

【会場】宇都宮東市民活動センター

【テーマ】STOP!社員の介護離職～社員が働ける環境づくりについて考える～

【報告者】（南）トレンドハウス

NPO法人スマイル

代表 野田 精一氏

『社長の道場』を掲げ、2017年度の経営指針セミナーは本講6回と補講2回を行い、本年度の延参加人数は100名を超え、多くの方に参加頂きました。参加頂いた顔ぶれを見ると、事業承継者（予定者を含む）の人数が増え、団塊世代経営者の退職という社会の現実を表していると感じました。

本セミナーは、「1. 学びはライブ！学びは積み重ね！積極的に参加しよう。2. 自分から「問い」をたてよう！「問い」が「答え」を生みます。3. この場でのことは秘密とし外に話さない。」を基本原則に運営しております。この信頼関係に基づいて、自社の課題、自身の立ち位置（創業者か、承継前か後か、社員との関係、現社長である親御さんとの関係と心持ちは？）を他の参加者に開示し、その上で今後どうしていくかを話し合いました。

本シリーズでは『経営指針』（経営理念・10年ビジョン・経営方針・経営計画）をつくること、つまり、自身の経営指針の材料を整理し、社員に言葉で伝わる形に『成文化する』ことを主目的にしていますが、その前段階にある自身の立ち位置の確認と進め方の確認にも意識を払いました。

セミナーの第5回目・第6回目は、受講生による経営指針の発表会が行われ、複数年参加頂いている方や今回から参加頂いた方、そして今作成中の方より発表や質問が行われ、他の参加者から質問や助言が書かれた付箋貼りが行われました。この助言には厳しい意見も混じっていますが、それら意見は「働く社員が人間らしく生きる経営を目指す」「そのために経営姿勢を確立する」観点から行われており、助言者からの本気の付き合いをしようという意思の現れと感じました。

来年も本勉強会を開催しますが、名称を改め、体験を交流しながら作り込むという意味で「経営指針を創る会」とします。参加可能人数に限りがあるため、案内があった際にはお早めにお申し込みをお願いします。

〔文〕共に育つ経営研究部会 斎藤秀樹
／ウィステリア・グループ



2018年度日程

回	日程	基本の時間帯	内 容 (案)	備 考
第1回	5月19日(土)	10:00~12:00 13:00~16:45 +夕食後	・経営指針を導入した効果の実例報告 ・自社の現状確認（自身・定性分析・数値分析） ・経営体験の交流（グループ討議）	県内施設での 宿泊研修
第2回	5月20日(日)	10:00~12:00 13:00~16:45	・経営知識の理解を深める（社内外の環境、事業構造、社員との関係の在り方・会社の数値）	
第3回	6月2日(土)	10:00~12:00 13:00~16:45	・経営知識の自社への置き換え（自社分析）	宇都宮東コ ミュニティー センター (原則)
第4回	6月16日(土)	10:00~12:00 13:00~16:45	・経営体験の交流（グループ討議） ↓	
第5回	7月7日(土)	10:00~12:00 13:00~16:45	・分析結果の統合（経営指針の整理）	
第6回	7月21日(土)	10:00~12:00 13:00~16:45	・経営指針発表会	
第7回	7月22日(日)	10:00~12:00 13:00~16:45	・経営指針発表会	

栃木同友会経営指針をつくる会の考え方



11月22日新会員オリエンテーションが行われた。オリエンテーションには新会員9名、同友会役員8名、未入会のゲスト2名が参加。同友会とはどうゆう会？かということの説明と共に、各参加者の経営問題にも触れ、その問題を課題に変え自社をより強くしていくための実践について、ベテラン同友会メンバーからのアドバイスがありました。「同友会は純粋に会社を強くしていく会、リーマンショックなど、様々な経営危機の中を会社設立以来25期連続で増収できたのも、同友会で沢山の仲間を支えられたから」という山中重雄前代表



理事（株こぶし）の実践報告には参加者一同引き込まれ、時間を忘れる程熱い答弁が続きました。ゲストで参加された入江宮子（有）オフィス日光さんは「いやいや誘われてきたが、楽しそうなので入会します。」とその場で入会。新会員からも「改めて同友会を知ることができた」「ためになった」という声も寄せられた。フォローアップ委員会の福田忠史委員長は、「改めて新会員オリエンテーションの必要性を感じた。今後の開催の周期については隔月か四半期ごとにしたい」と語った。

〔文〕二階堂英夫 事務局

■ 栃木同友会に関する資料請求はこちらまで → FAX 028-612-3827

貴社名	役職名・氏名	
住所 〒		
TEL	FAX	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、各種ご案内ならびにお問い合わせ対応のみに使用し、第三者への開示は一切ありません。